

那須塩原市 農業委員会だより

編集／発行 那須塩原市農業委員会 那須塩原市共墾社108-2 TEL 0287-62-7186



令和6年11月25日に、那須拓陽高校生による農業委員会の総会傍聴と懇談会を実施しました。

農業を学ぶ生徒を対象に、農地を守る農業委員会の役割への理解と、担い手育成と後継者確保のための問題点の共有を目的として農業経営科3年生10名が参加しました。

農業委員との懇談会では将来、就農するにあたってのアドバイスなどをし、那須塩原市の農業発展のための共通理解を深めました。

3月号
令和7(2025)年
No.47

主な内容

那須拓陽高校生による総会傍聴及び懇談会	2
地域計画について	3
視察研修参加報告	4
菊地農場の紹介、栃木県農業士に認定されました	5
農作業標準料金表、賃借料情報、農業者年金	6、7
活動日誌、紹介『箒根神社例大祭』、 全国農業新聞のお知らせ	8

那須拓陽高校との総会傍聴及び懇談会を実施しました

那須拓陽高校生との意見交換会は平成29年度から実施しており、本市の農業を将来に渡し、さらに魅力ある産業とするため、活発な意見交換をしてきました。近年、コロナ禍により実施を控えていましたが、総会の傍聴を追加して今年度より再開しました。

本市では令和7年3月の地域計画策定に向け、昨年度から地域会合を開催し、地域の皆様の意見を伺ってきました。その際、どこの地域でも喫緊の課題として挙げられるのは農業の担い手不足です。

そこで、那須拓陽高校で農業を学ぶ生徒を対象に、農地を守る農業委員会の役割への理解と、懇談をとおして担い手育成と後継者確保のための問題点を共有しました。

那須拓陽高校農業経営科の生徒10名が参加し、総会傍聴においては「内容は難しかったが、貴重な体験が出来た」や「月に1回総会を実施しているのを初めて知った」等の意見がありました。農業委員会の役割を少しでも理解してもらう機会になったのではないのでしょうか。

懇談会においては、3班に分かれて実施しました。農業委員から生徒に今後のアドバイスや生徒から農業委員へ今後、農業の担い手になるための注意点など活発な意見交換が出来ました。

「農業委員の皆様がとても明るく話してくださり、質問しやすく、とても楽しく勉強になった機会でした。将来の農業に今回の事を活かしたい」や「農業委員の皆さんが今後のアドバイスをくれたので、進路実現に向けて頑張ろうと思った」等の意見がありました。

今後も那須拓陽高校との懇談会など農業の担い手育成、後継者確保のため、農業委員会として活動をしていければと考えています。



地域計画策定に向けた 第2回 地域会合を開催しました

会合の内容

令和6年6月から8月にかけて、2回目の地域会合を開催しました。今回は、令和5年度に行った地域会合で出た意見を基に作成した地域計画案及び目標地図案の内容について、再度話し合いを行いました。

【話し合いの内容】

- 地域農業の現状及び課題
- 地域における農業の将来の在り方
- 農用地の集積、集約化の方針など

検討結果の一例

【地域農業の現状及び課題】

- 形の悪い農地が多く、飛地になっている。また、用水路が少なく、井戸を使用しているところがあり、水質の問題や時期によって水の出が悪いなど耕作条件が良くない。
- 米価が安く、機械は高いため、継続が困難であり、担い手が不足している。

【地域における農業の将来の在り方】

- 農地を地域内外の農業者に集積・集約を進め、併せて農地耕作条件改善事業等の活用による農地の整備を検討していく。
- 高付加価値な園芸作物の導入による収入の増加を図る。

今後の予定

- 令和7年3月31日 地域計画を策定し公告します。
- 令和7年4月以降 必要に応じて地域計画を随時修正します。

地域計画区域内の農振除外、農地転用及び農地バンクを活用した農地の貸借等をする場合や、地域計画と連携する各補助事業を活用する場合には、必要に応じて地域計画を変更する必要があります。特に、農振除外、農地転用及び補助事業関連に関しては、各手続きよりも先に地域計画を変更する手続きを開始する必要がありますので、事前に農務畜産課にご相談ください。

地域計画の変更が必要	地域計画と連携する補助事業(一例)
・農振除外 ・農地転用 ・農地バンクを活用した貸借等 ・地域計画と連携する補助事業	・農地利用効率化等支援交付金 ・担い手確保・経営強化支援事業 ・経営継承・発展支援事業 ・スーパーL資金金利負担軽減措置 ・農業経営基盤強化準備金

視察研修に参加しました

農業委員 白井 通

令和6年11月7、8日の2日間、宮城県石巻市に視察研修と石巻市農業委員会との意見交換会に参加しました。

1日目は(株)デ・リーフデ北上を視察してきました。東日本大震災で被害を受けた北上地区において平成26年に地域農業の再生と地域雇用機会の創出を目的に設立したそうです。オランダの施設園芸にヒントを得て高度環境制御技術を活用しながら自社の経営に合わせた運営方法を確立していました。社員はオランダで研修させるなど栽培技術の向上にも積極的に取り組んでいました。現在は大玉トマト0.7ha、ミニトマト0.6ha、パプリカ0.9haを栽培しています。ハウス内は整理整頓されていて作業員も働きやすい環境になっていました。経営理念の「愛・ある・野菜 愛ある強い農業を通して人々の心を豊かにし健康で笑顔あふれる社会を築こう」となっており感銘を受けました。

2日目は石巻市農業委員会との意見交換会が行われました。石巻市は宮城県北部に位置し那須塩原市より年間平均気温が0.2℃低く年間平均降水量が約461mm少ないくらいで耕地面積がほぼ同じ地域でした。交換会では遊休農地・耕作放棄地の解消に向けた活動や担い手不足解消に向けた活動などさまざまな意見交換ができました。自分のグループでは農作業標準料金や圃場整備の話が多く出ていました。この様な他の地域の農業委員との交流会は

新鮮でお互い良い刺激であり、今後の那須塩原市の農業への発展に繋がると思います。初めて参加した視察研修でしたが学ぶ事が多く勉強になりました。

農地利用最適化推進委員 斉藤 一太

去る11月7、8日の2日間にわたり石巻市にある大規模園芸施設と農業委員会の2カ所を視察して参りました。

初日は、(株)デ・リーフデ北上(オランダ語で慈愛を意味する)と云う北上川の左岸に立地した大規模園芸施設です。そこは東日本大震災時の津波によって多くの命が奪われた旧大川小学校の震災遺構を遠く対岸に見通せるところにあり、河口からも近かったため甚大な被害をもたらした地域でもあります。

はじめに、鈴木嘉悦郎社長から直に会社概要等について説明がありました。冒頭、視察は基本的に断っているが、私達が同じ農業関係者であったことから特別に受諾いただいた経緯があります。施設の概要は、園芸先進国であるオランダ由来のフェンロー型鉄骨ガラス温室(オランダ式高度環境制御ハウス)で管理も全てオランダのIT環境制御システムを備えた多段型養液栽培施設であるが一見するとそれは正に自動化された野菜の大規模生産工場です。2016年秋からトマトとパプリカの一貫生産と販売を行っている、トマトは通常45段で収穫を終えるが、48段まで収穫し周年の需要に安定的に供給できる栽培体系をとっているとのこと。

今後の目標については、岩手県沿岸部に更に2つの農場を開設し、将来日本一の規模を

誇る農業を目指すとしており、社長の慈愛に満ちた穏やかな人柄のなかにもその並々ならぬ強い決意と情熱を感じました。

2日目は、石巻市農業委員会ですが通常の視察研修とは趣を変え両農業委員及び両農地利用最適化推進委員(以下「推進委員」という。)による意見交換を行いました。3班に分かれて行いましたが、約1時間という短時間にも関わらず有意義で実りある研修となりました。

特に農業委員等の定数では、本市64人(農委20人、推進委員44人)に対し、39人(農委19人、推進委員20人)で推進委員が約半数である。

耕地面積はほぼ同様にも関わらず、特に委員不足は感じていないとのことですが、これは置かれた地理的状況や地域事情が異なるため、一概に定数の多寡を論じることには出来ませんが、特筆すべきは、推進委員も定例の農業委員会に出席し統一的・一体的な情報共有が行われていることでその効果を発現しているのではないかと推察致しました。

一方、両市における農地対策、農政対策など抱えている問題や課題は数多くあるが、遊休農地対策、後継者対策、農業生産対策、獣害対策などはほぼ共通しており実情を鑑みたととき、何れも両市のみならず全国的な傾向レベルになっているのではないかと思われ一自治体では解決できない憂慮すべき事態であると感じた次第です。

一般の研修を通じて感じたのは、本市は自然災害が少なく大変恵まれていることに改めて感謝しつつ、被災地に暮らす方々の郷土愛、人間愛そして復興に立ち向かう強い不屈の精神力を改めて感じた貴重な機会となりました。



(株)デ・リーフデ北上①



(株)デ・リーフデ北上②



石巻市農業委員会意見交換会

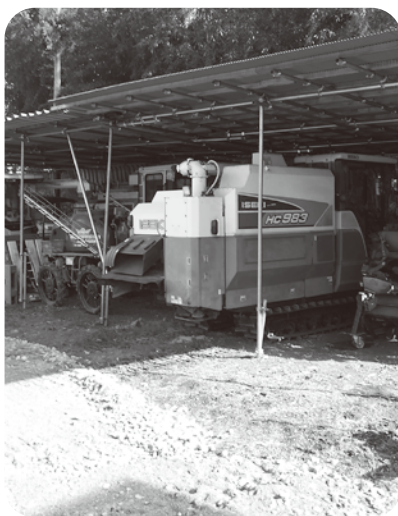
株式会社菊地農場を紹介します

今回紹介するのは箕輪地区にある株式会社菊地農場です。

菊地農場は平成31年4月に法人化を行い、現在、水稻を約70ha(WCS,飼料米含む)中心にそばも約20ha作付けしています。令和7年4月で法人化して7年目を迎える農場です。

代表の菊地望(のぞみ)さんを含む、6名で経営を行っているとのこと。圃場は箕輪地区を中心に遠いところでは佐野地区、上横林地区の圃場もあるとのこと。冬の時期は農業機械の整備や圃場整備を行っており、これから春先に向けての準備を行っているそうです。

将来は経営規模の拡大を考えているが従業員の確保が課題と話してくれました。



栃木県農業士に認定されました

令和7年1月8日、栃木県農業士、女性農業士、名誉農業士の認定式が栃木県公館において行われ、県全体で新たに農業士14名、女性農業士6名、名誉農業士15名が認定されました。本市では、栃木県農業士として高松英樹さん(西三島/トマト・水稻)が認定されました。高松さんは、新農業士代表としてあいさつを行い、「地域の農業振興と青年農業者の育成に取り組み、県内農業の発展を目指していきたい」と今後の意気込みを述べていました。



令和7(2025)年度 那須塩原市農作業標準料金表

(すべて消費税は含まれておりません。)

作 目	作 業 名		単 位	金 額	備 考
稲 作	耕起		10a	3,600円	ロータリー耕1回
				4,200円	プラウ耕
	荒代		10a	3,150円	プラウ耕した圃場は500円加算
	畦畔ぬり(つき)		1m	52円	機械の貸出25円
	育苗		1箱	670円	圃場渡し(運搬)の場合60円加算
	施肥		10a	1,050円	肥料及び補助員は別(ブロードキャスター)
	植代		10a	4,200円	機械ならし
	田植え		10a	5,250円	機械による植付。補助作業・側条施肥は各1,000円加算、箱処理剤同時散布・除草剤同時散布は各500円加算(農薬代別)
	防除	(液剤)	10a	1,300円	農薬代別・動噴
		(粉・粒剤)		1,050円	
		(フロアブル)		1,004円	農薬代別・手作業
	畦畔草刈り		1㎡	15円	草刈り機による作業、燃料含む
	稲刈り(コンバイン)		10a	14,700円	
	籾運搬		10a	1,260円	圃場から乾燥施設まで、10km以上(10a)1,500円
	乾燥・調製		1袋30kg	570円	
	色彩選別		30kg	330円	
	稲わら梱包(ヘイベアラ)		1梱包	210円	1梱包13kg
	稲わら梱包(ロールベアラ)		1梱包	1,570円	1梱包 直径120cm標準(搬出別)
	堆肥散布		10a	2,400円	マニアスプレッダー2t/10a基準(堆肥別)
	薬剤散布(ドローン)		10a	1,500円	薬剤別
麦 作	播種		10a	3,600円	ドリルシーダーによる作業
	麦踏み		10a	840円	トラクター(オペレータ含む)
	防除		10a	1,300円	農薬代別
	麦刈り(コンバイン)		10a	14,700円	
	乾燥・調製		1袋25kg	630円	
	麦運搬		10a	1,260円	圃場から乾燥施設まで、10 km以上(10a)1,570 円
大 豆	播種		10a	3,150円	ロータリー耕1回
	中耕培土		10a	3,600円	管理機械作業
	防除		10a	1,300円	農薬代別
	収穫		10a	10,500円	コンバイン作業、補助員含む
	選別機		30kg	82円	作業機のみ
畑 作	堆肥散布		10a	2,400円	マニアスプレッダー2t/10a基準(堆肥別)
	牧草刈取(モアコン)		10a	2,100円	
	牧草刈取(コーンハーベスタ)		10a	6,300円	
	牧草反転集草		10a	2,100円	反転2回、集草
	飼料作物(牧草)ロール作業		1梱包	2,100円	直径120cm標準(搬出別)
	飼料作物(デントコーン)ロール作業		1梱包	2,100円	直径100cm標準(搬出別)
	飼料作物ラッピング		1梱包	1,050円	二重巻標準
手 作 業	飼料作物収穫作業(刈取・運搬・サイロ詰)		10a	15,750円	踏み込みは含まず
	農作業一般(稲作・畑作)		1人1時間	1,004円	栃木県の最低賃金(令和6年10月改定) ※最低賃金が改定された場合は、最低賃金以上の額にしてください

- 表に載っていない項目については、相互協議の上決定してください。
- 標準料金ですので、圃場条件や作業の難易度等が著しく異なる場合又は荒廃農地等の再生により作業条件が大きく異なる場合は別途協議の上決定してください。
- カントリーエレベーター利用料金は、別途利用料金設定となります。

那須塩原市農業委員会

令和6(2024)年12月25日

那須塩原市賃借料情報

令和6(2024)年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における10a当たりの賃借料水準は、以下のとおりとなっております。

令和7(2025)年1月27日

那須塩原市農業委員会

【田(水稻)の部】

締結(公告) された地域名	平均額*	最高額	最低額	筆数
黒 磯	11,731円	24,450円	3,540円	99筆
鍋 掛	13,368円	24,450円	6,000円	101筆
東那須野	12,404円	20,375円	4,000円	209筆
高 林	9,804円	13,855円	5,000円	43筆
狩 野	13,326円	32,600円	1,878円	152筆
西那須野	11,164円	20,375円	1,490円	124筆
箒 根	14,903円	23,635円	4,000円	132筆
塩 原*	8,000円	8,000円	8,000円	4筆
(参考) 那須塩原市全体	12,659円	20,968円	4,239円	864筆

【畑(普通畑)の部】

締結(公告) された地域名	平均額	最高額	最低額	筆数
黒 磯	12,210円	16,184円	10,000円	12筆
鍋 掛	8,150円	8,150円	8,150円	1筆
東那須野	11,843円	13,040円	7,860円	3筆
高 林	8,641円	12,000円	1,000円	73筆
狩 野	12,996円	16,300円	10,000円	9筆
西那須野	7,796円	12,000円	2,760円	5筆
箒 根	12,036円	20,000円	7,612円	5筆
塩 原	8,000円	8,000円	8,000円	7筆
(参考) 那須塩原市全体	9,505円	13,209円	6,923円	115筆

※塩原の田は、参考値が無いため過去直前にあった数字を記載。

※平均額は、筆数による加重平均により算出。

※物納については、玄米8,150円/30kgで換算。

老後生活
への備えは
十分ですか？



女性農業者の皆さんへ 農業者年金ご存知ですか？

- 農業者年金は「終身年金」ですので、
女性の長い老後を**しっかりサポート**します。
- 家族経営協定を結べば
保険料の国庫補助も受けられます。
- 女性の農業経営への参画を**しっかり応援**します！
- 保険料が全額社会保険料控除の対象で、
高い節税効果！

※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。

- ・年間60日以上農業に従事している方で、
- ・国民年金第1号被保険者(60歳未満)又は、
国民年金の任意加入者(60歳以上65歳未満)

※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



詳しくは… **農業者年金基金** **検索**
<https://www.nounen.go.jp>

農業 委員会 日誌

- 農地転用・権利移動の審議総会（原則、毎月25日に開催）
- その他
 - ・運営委員会、農業委員会だより編集委員会
 - ・農地転用案件等の現地調査、農地利用状況調査
 - ・農業委員会全体会議 10月31日
 - ・農業委員会視察研修（宮城県石巻市ほか） 11月7日～8日

お祭 紹介

「たけ さん ほうき ね じん じゃ れい たい さい 嶽山箒根神社例大祭」

令和6年11月23日、宇都野地区において、「嶽山箒根神社例大祭」が盛大に開催されました。

この祭りは、毎年11月23日に五穀豊穡への感謝と来年の豊作を願って「梵天（根付きの孟宗竹の先に竹籠をつけ、和紙を結び、竹の本体に荒縄を巻き付けたもの）」を、激しく揉んだり、地面に叩きつけたりして奉納する祭りです。

今年は、宇都野地区、金沢地区、アグリパル塩原、市消防団塩原支団から4本の梵天が奉納されました。この神社の創立は古く明かではないが、大和朝廷の基礎を整えたとされる崇神天皇の御代に東国を治めた豊城入彦命が、大己貴命、事代主命、伊邪那岐命を祭り、後年、自らも合祭されたことが始まりのようです。

宇都野地区においても、住民の高齢化、児童数の減少、農業担い手の不足等の現実がありますが、これからも、自治会、神社氏子、梵天保存会等の組織が協力し合い、このお祭りと神社の歴史を継承していく所存です。



（取材）農業委員 斎藤 栄

魅力あふれる全国農業新聞

- ・農業経営に役立つ情報満載！
- ・地域づくりのヒントがいっぱい！
- ・暮らしや生活に役立つ話題たくさん！

毎週金曜日(月4回)発行 購読料:月額700円

購読お申し込みは、農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局(0287-62-7186)まで

農業委員会だより 編集委員会

編集委員長
副編集委員長
編集委員

石崎 清 高瀬 和夫 市川 一男 加藤 拓央 金田 廣衛 菊地 寿行 菊地 良一 後藤 国彦 花塚 孝太 松本 忠美 室井 孝美 渡辺 豊